

令和7年度 都城市立乙房小学校 学校関係者評価

4段階評価【4…そう思う(100～90%達成) 3…だいたい、そう思う(90～80%達成) 2…あまり、そう思わない(80～60%達成) 1…そう思わない(60%以下)】 ※「-」は、調査していない項目

本校の教育的課題		評価指標 (児童の意識・姿・態度)	職員の 評価	保護者 評価	児童 評価	自己 評価	自己評価コメント	学校関係者 評価	学校関係者評価コメント(成果○と課題●)	次年度に向けた改善策
命を大切に する教育	自他の命を大切に する態度の育成	命について考えたり、命を守る行動を実践したりする学習を通して、一人一人が命を大切にしようとする態度が身に付いているか。	3.0	-	3.8		<p>○ 命を大切にする態度やきまりを守ること、友達と仲良くすることについては、児童の自己評価は高かった。しかし、本年度、交通事故が1件起きている。今後も命を守るための指導に力を入れたい。</p> <p>○ 学校へ登校することが楽しくないと回答した児童が22%いた。(昨年度は17%)毎月実施している児童へのアンケートを基に、担任が教育相談を行うなかで、児童の望ましい人間関係の醸成や早期の悩み解消に努めていきたい。また、学級だけの問題ではないことも考えられるので、必要事項については関係職員で共通理解し、協力して問題解決を図りたい。また、本年度も保護者向けアンケートも実施し、児童アンケートだけでは得られない情報を収集することができた。次年度も継続して、早期発見・早期解決につなげていきたい。</p>	3.4	<p>○ いじめ等の報告を受けておらず、人間関係は概ね良好と考える。</p> <p>○ 今後も命を守るための指導に力を入れてもらいたい。</p> <p>○ 自主性を大切にして、児童のアンケートを基に教育相談を行い、早期に悩みを解消するように努めてもらいたい。</p> <p>○ 私は交通事故があったら引越すと言って、下校を見守っています。今のところ大丈夫です。</p> <p>● 自転車に乗るときのヘルメット着用が問題。</p> <p>● 楽しくないと回答した児童が22%と、昨年度より5%増えていることは心配である。宿題をやっていないことなども原因だと思われるが、要因の把握が喫緊の課題だと思う。</p> <p>● フリースクールに参加する子どもとの連携や学校からのアプローチを探ってみてはどうか。(担任外の教師が顔を出すなど)</p>	<p>○ 命の大切さに関しては、各学級での日常指導と併せて、全校朝会や始業式、終業式等で全体指導を実施してきた。日常生活の中で常に意識させ、自分事として捉えることができるよう指導していく。</p>
	望ましい人間関係の醸成	自分や友達のことを大切にし、だれとでも仲良く過ごしているか。	3.0	3.4	3.5	3				
		学校の教育活動を通して、楽しく学校生活を送っているか。	3.0	3.4	3.2					

学力向上を目指した学習活動の推進	児童の主体的な学習活動	授業改善や指導の工夫が行われたか。	3.0	3.2	—	3	<p>○ 「学習への主体的な取組」についての評価は、児童、教職員共に「思う」「だいたい、思う」が、昨年同様8割程度であった。学習への主体的な取組は学力の向上につながるため、本年度の校内研究では、児童が自ら進んで考える活動を重視した授業に取り組んできた。本校は若い職員が多いため、職員全員で教え合い、学び合うことを意識して、授業改善に努めていきたい。</p> <p>○ 家庭学習については、児童の評価は3.6だが、職員と保護者の評価が3.1と低い結果であった。家庭学習への取組については、学校での指導だけでなく、保護者の協力や見守りも重要である。また、宿題をしない児童が一定数おり、同じ児童が忘れがちという実態もある。そこで、参観日の懇談等で話題にするとともに家庭への働きかけをしていきたい。</p> <p>○ 読書活動については、保護者の評価が2.2(昨年度は2.1)とかなり低い結果となった。しかし、図書室の貸出冊数は11月末の段階で、20,000冊を超えており、昨年度よりかなり早い段階で、年間目標冊数に達した。しかし、家庭に持ち帰って読む機会が少なく、習い事や少年団の活動等があり、読む時間が限られているため、保護者の評価が低くなっていると考えられる。</p> <p>○ タブレットPCを用いた宿題に関しては、保護者から見直しをしてほしいとの意見があった。AIドリル(キュビナ)の活用については、メリット等を説明して保護者の理解を得る必要がある。</p>	3.4	<p>○ 昨年指摘させていただいたが、貸出冊数=読書量でないので注意が必要である。しかし、貸出冊数が大幅に伸びたのは、図書室に児童が好きな本を備えているからだと思うので、今後も児童が興味のある本を揃えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一律の宿題でなく、児童が自分のペースで学べるような家庭学習用プリントを用意してほしい。 ● 利用の制限等について、徹底した指導(が必要)。担任外から指導した方が効果的では。 ● デジタルとアナログの使い分けが重要だと思う。調べ学習などにはデジタルも有効であると思うが、読み書きなどの基礎学力には紙を重視した方がよいと思う。 <p>○ 読書に関しては、図書館サポーターが主になって行う様々なイベントが児童の読書意欲を高めている。学年相応のレベルの選書ができるような指導にも取り組んでいきたい。</p> <p>○ 個に応じた指導については、学校もしっかり実施していかねばならない。市が提供しているAIドリル(キュビナ)には、苦手な問題に対応する機能が付いている。授業や宿題等での有効活用を進めていきたい。</p> <p>○ デジタルとアナログの使い分けについては、御指摘のとおりである。TP Oに応じた効果的な使用について考えていく。</p>
		児童が主体的に学習に取り組んでいるか。	3.0	—	3.1				
	ICT機器の活用	タブレットPCを活用した学習を実施しているか。	3.1	3	3.6				
	読書活動の推進	読書量の増加、読書活動の意欲向上が図られたか。	3.0	2.2	3.2				
	当該学年の学習内容の確実な定着	児童が家庭学習に確実に取り組んでいるか。	3.1	3.1	3.6				
児童に学習内容が定着しているか。		2.9	3	3.4					

児童に寄り添った生徒指導の充実	児童に寄り添った生徒指導	児童のよさを認め、伸ばす指導が行われているか。	3.0	3.2	—	3	<p>○ あいさつについては、児童の評価は3.4であったが、教職員及び保護者の評価は2.9と低かった。学校では、あいさつしているように見えるが声が小さく相手に届いていない様子が見られる時がある。学校ではできていても地域でできていないことも考えられる。登校時、スクールガードの方にあつたら必ず元気にあいさつをするなど、まずは場面を設定してあいさつする場を増やすなどの工夫をする必要がある。</p> <p>○ きまりを守ることにしても、児童の評価は高いが、学校の廊下歩行、トイレのスリッパ並べなどを見ていると十分できているとは言えない。まずは、学校のきまりを守ることを意識させたい。</p>	3.4	<p>○ スクールガードへのあいさつが限定的。 ○ 声は小さいが、よくあいさつをしてくれる。 ○ 通学時にみんなきちんと並んで無駄話などしないで、素晴らしい。 ○ あいさつについて、地域ではできていると思います。 ● あいさつは全ての基本であるので、教職員や保護者が率先して子どもたちにあいさつをしていただき、手本になる姿を示してほしい。</p>	<p>○ あいさつについては、本校の大きな課題の1つである。学校外や地域でのあいさつについては、声が小さく聞き取れないということも考えられる。登校班で、高学年がスクールガードの方にしっかりあいさつする姿を見せることが下級生へのよい手本となるので、「自分から」「元気よく」などのキーワードを意識させながら、常時指導を継続していく。</p> <p>○ 児童向けの生活アンケートに毎月取り組み、児童の悩みを把握するとともに、保護者向けの生活アンケートも定期的に行い、情報収集に努めてきた。学校生活について児童が保護者といっしょに考えることで、児童アンケートに書かれていない困り感が明確になることがあった。児童が安心して学校生活を過ごせるようさらに保護者と連携を図っていく。</p> <p>○ ゲームやスマホの使い方、ルール作りについては、家庭との連携が重要である。より適切な使用ができるよう家庭と情報交換しながら指導していく。</p>
	勤労奉仕の精神の向上	自分から進んで家族や友だち、学校、地域のためになることを行っているか。	3.0	—	—					
	基本的な生活習慣の定着	自分からあいさつをしているか。	2.9	2.9	3.4					
		校内外のきまりを守ろうとする態度が身に付いたか。	3.2	3.3	3.5					

体力向上と保健安全面の配慮	基礎体力の向上	体力向上プランをもとに、体を動かした遊びや日常的な運動習慣の形成や、体力の向上が図られたか。	2.9	3.1	3.6	3	<p>○ 近年、7月に入ると熱中症アラート(危険)が出て、外遊びだけでなく体育館での運動も制限される日が多い。教室にエアコンが設置されていることもあり、外遊びをせず体を十分動かしていない児童が多い。運動できる日はなるべく外遊びをするよう児童に働きかけていきたい。</p> <p>○ ゲームやスマートフォンを夜遅くまでしている児童が多いことが数年前から問題になっている。そこで、昨年度に引き続き、睡眠時間に焦点を当てて学校保健委員会を実施した。本年度は、4～6年児童と保護者対象に、「睡眠の大切さ」や「眠り方」について講演をしていただいた。</p>	3.1	<p>○ ノーメディア週間等をもっと取り入れてほしい。</p> <p>○ 運動できる日は外遊びをするようにみんなでできる新しいゲームを探すようにする。</p> <p>○ 家族でスマートフォンを利用する時間を決めておくことが大切である。</p> <p>○ 睡眠は記憶の定着や整理に重要なものなので、「睡眠の大切さ」についての講演を実施したことは評価できる。</p> <p>● 朝食の大切さについて、保護者向けの説明(学習)が必要。</p> <p>● 登校時、元気がない子どもが多く、朝食の欠食や不足が考えられる。</p> <p>● あいさつをすることの意義から指導を行ってはどうか。</p>	<p>○ 早寝・早起きや朝ごはんについては、児童自身が、あまり習慣化できていないと回答している割合が多い。家庭での習慣なので、家庭との連携を図りながら徹底を図ることが必要と考える。</p> <p>○ 昨年度に引き続き、学校保健委員会で、「睡眠」について取り組んできた。講演会を実施したが、保護者の参加を得ることが難しかった。保護者への啓発のあり方など、見直しを図りながら取り組んでいく。</p> <p>○ 手洗いやうがいなどの保健衛生習慣については、保護者の評価が低い。学校では日常的に指導されるので実施しているが、家庭で自主的に実施するまでには至っていないと考えられる。家庭での保健衛生についても意識が高められるよう学校からの啓発を進めていく。</p>
	安定した生活リズムの確立	早寝、早起きが習慣化されたか。	2.6	3.3	3.2					
		朝ごはんが習慣化されたか。	2.7	3.9	3.8					
	保健衛生習慣の定着と健康や安全に対する実践的な態度の育成	手洗い・うがいが徹底されたか。	3	2.8	3.5					

開かれた学校づくり	積極的な学校の情報発信と相談体制の充実	学校だよりや学級通信、学校ホームページで、子どもたちのよさを発信できたか。	3.5	3.6	—	<p>○ 学校通信を保護者や地域に配付したり、ホームページを毎日更新したりして、保護者や地域の方へ学校や学級の児童の様子を伝えてきた。保護者アンケートの記述欄に、「文書を出したときはsigfyでも同文書を添付して知らせしてほしい」という要望があったので、検討していく。</p> <p>○ 保護者からの相談への対応について、職員の自己評価は高かったが、保護者の評価は「思う」「だいたい、思う」が8割であった。対応のどのような点が不十分であったのかsigfyのアンケート機能を活用するなどして、保護者の意見をまとめ、今後に生かしたい。乙房壮年部や乙房自治公民館と協働で「炊き出し訓練」を計画した。雨のため実施はできなかったが、学校と地域が同じ目的をもってかなり具体的な協議ができたことはとても意義深い。</p> <p>○ 地域の祭りやイベント等、地域とつながる活動が増えることで、児童が地域の一員として自覚する機会となり、ありがたかった。しかし、高学年の負担が大きい。少年団活動等との絡みもあり、参加児童の確保が難しいことがあった。</p> <p>○ 「乙房ふれ愛祭り」では、本年度もふれあい体験活動やキャリア教育座談会に多くの方が講師として参加していただき、地域人材を活用した学習を進めることができた。体験活動の種類が増え、講師の方が活動内容を工夫してくださっているものもあり、有難かった。今後も地域人材や素材を活用した学習の推進により、ふるさとのよさを感じ、ふるさとを愛する心情を育てることを目指していきたい。</p> <p>○ スクールガードの方をはじめ、児童の安全に関わっていただいていることに大変感謝している。しかし、スクールガードの方から、「登校中に注意してもしっかり聞いてくれない」という御意見をいただいたことがあった。常時指導に加え、学期1回程度行われる登校班会においてもスクールガードの方への感謝の気持ちの大切さについて話をしていく。</p>
		保護者からの相談に適切に対応できているか。	3.5	3.3	—	
		地域からの相談に適切に対応できているか。	—	3.1	—	
	ふるさと教育の充実	ふるさと乙房を知り、乙房から学ぶ教育活動を通して、ふるさとのよさを感じることができたか。(学校の学習活動は、地域に貢献する活動となっているか。)	3.3	3.4	—	
児童の安全に関する連携	学校・家庭・地域が連携して児童の安全を守っているか。	3.3	3.3	—	<p>○ 行事ごとに地域住民と交流が図られており、大変良好な関係性ができている。</p> <p>○ 地域の活動への参加は素晴らしい。</p> <p>○ 地域の祭りやイベントは参加できる児童だけでも参加すれば思い出になると思います。</p> <p>○ 炊き出し訓練はできなかったが、計画をしたことがよかったです。</p> <p>○ 学校の学習活動は、地域に貢献する活動になっていると思います。</p> <p>○ 学校・家庭・地域が連携して安全を守っている。</p> <p>○ ふれあい体験活動やキャリア教育座談会に地域の方が参加協力していることは評価できるので、今後も続けてほしい。</p> <p>● 児童に、まずどんな仕事の話を知りたいのかのアンケートをとってから、キャリア教育座談会の講師を選ぶようにした方がよいと思う。</p> <p>● 奴踊りに対するモチベーションの低さが気になる。</p> <p>● 志和地小は、伝統の踊りを子どもがプレゼンして復活させた。そのような事例を紹介し、伝統芸能の意義を考えさせる場をつくってはどうか。</p> <p>● 運動会で、徒競走の走者の名前を呼んでほしい。</p> <p>● 持久走記録会の案内がsigfyでなかった。情報が少なく困った。全体のスケジュール(1～6年まで)を知りたかった。</p> <p>● sigfyでも同文書を添付した方がよいと思います。</p> <p>● sigfyのアンケート機能を活用する。</p> <p>● 店のイートスペースで、子ども同士で買い食いするのを見たことがある。</p>	

○ 本校のホームページを見ているという声を地域の方から伺う機会が多かった。今後も、積極的にホームページや学校だよりなどで、学校の様子を保護者や地域の方に発信していく。

○ 学校が配付した文書に関しては、必要に応じてsigfyにも添付して配信していく。学校が行うアンケートに関しても、sigfyを用いて実施したほうがよいものについて検討する。

○ 地域の行事に児童が参加できるようにするには、保護者の協力が不可欠である。奴踊りについては、5・6年生が担っているが、休日等の出演依頼が多く、少年団の試合等と重なり参加できないという声が保護者から聞かれた。参加しやすかった、参加してよかったと思っていただけよう、方法や内容を工夫し、地域と連携した活動が盛んになるよう保護者の意見を取り入れながら、ふるさと教育を推進していく。